

冬休み前の学級づくり



「見る 聞く 認める」を大切に学級づくり

12月になり、2学期のまとめの時期になりました。各学校では、日々の授業を進めると同時に、様々な活動を振り返り、次の活動へと生かす取組が並行して進められています。

1学期末の個人懇談では、保護者に児童生徒の成長を示し、2学期以降に向けての期待感をふくらませるようにしました。2学期末は、4月からの9ヶ月間で成長した子供の変容の様子をしっかりと伝えたいものです。

今回は、そのほかの事項も含めて、冬休みまでの学級づくりのポイントについてまとめました。

冬休み直前の学級づくりのチェックポイント

子ども目線、保護者目線に立つことが大切です。



□ 学習の進捗

- ◆ 学習の進捗を確認し、2学期の内容は2学期中にやり切ることが必要です!!!
- ◆ 作品はていねいに返却しましょう!!!

学期末になると、学習の進捗が気になるのは、1学期末と同様です。3学期の慌ただしさを考えると、**2学期の学習は2学期中に終わらせておく方がよい**でしょう。残り時数をもとに、計画的に指導しましょう。

学期末には作品の返却も多くなります。早めに戻すことはもちろんですが、**評価の足跡を残したい**ものです。作品は教師自身がていねいに扱い、場合によっては写真を撮るなどして残しておきます。

□ 個人懇談

- ◆ 4月からの子供の変容を具体的に示しましょう!!!
- ◆ 課題や弱点の克服方法などを具体的に示しましょう!!!

2学期末の個人懇談は、4月からの子供が成長した変容の様子を**具体的に示す**必要があります。保護者の意識は、もう今年度の成果に向かっていているからです。今年度の学校での成長がどうだったのか、指導の結果、どこが伸びたのか、保護者の知らない子どものよさなど、**具体的な子どもの姿を伝え**ましょう。

今回も保護者は仕事を休んでこられます。「**来てよかった**」と思われる懇談にするように内容を工夫する必要があります。懇談の内容や持ち方などは、必ず**学年団等で相談**しましょう。

□ トラブル

- ◆ 早期発見・早期対応が問題解決の早道です!!!

年末は多忙な上、何かと気ぜわしいのですが、そのようなときでも**生徒指導上の問題は起こります**。問題が起こったときは、対応マニュアルを参考に**組織で速やかに対応**しますが、新しい年を安心して迎えられるよう、まずは児童生徒の声をしっかりと聞きましょう。**金銭トラブルも起こりがち**ですので、冬休み前の学級指導で触れておくことはもちろん、職員間でも、対応について再確認しておきましょう。

□ 冬休みにすること

- ◆ 先生方にとっても充実した冬休みとなるようにしましょう!!!

先生方にとっても年末年始は、久しぶりに昔からの友人に出会ったり、地域の行事に参加したり、また、遠くに出かけたりと、**リフレッシュするのに最適な時期**です。教員は公私の切り替えが苦手だと言われていますが、この機会に普段とは違う社会に触れてみるのもよいでしょう。

また、**まとめの3ヶ月**に向けて、これまでの**取組を振り返り、見直しを持つ**ことも大切です。

□ 新しい年への期待を持たせる



新しい年への変わり目は、児童生徒も自分自身の変化に期待しています。「**来年こそは変わりたい**」「**新しい自分がんばりたい**」など、どの児童生徒も希望を持っています。しかしながら、自分の力だけで乗り越えるのは困難が伴います。一人一人の子供に即した教師の適切な支援が必要です。

